

防災の取り組み



総合防災訓練での自主防災組織の救助訓練

宮古市は震災により大きな被害を受けました。その教訓を忘れずに次世代に語りつぎ、防災にいかすため、さまざまな取り組みが行われています。

「学ぶ防災」ガイドツアー

東日本大震災の影響で甚大な被害に遭った田老地区の現状と、災害の記録を後世への教訓として伝え、参加者に防災意識を高めてもらうため、ガイドツアーを行っています。



「学ぶ防災」ガイドツアーの様子

たろう観光ホテル（震災遺構）

震災によって甚大な被害を受けた「たろう観光ホテル」は、津波によって4階まで浸水。2階まで柱を残して流出しました。津波の恐ろしさを伝えるために保存された震災遺構第1号です。



たろう観光ホテル（平成28年（2016）年4月以降公開予定）

防災士養成研修講座

災害発生初期での救助・救命には、自らを守る力「自助」と、近隣住民同士で地域を守る力「共助」が不可欠です。宮古市では1町内会に1防災士を目標に、地域防災リーダーの育成に取り組んでいます。



防災士養成研修講座でロープの結び方を教え合う受講者

震災メモリアルパーク中の浜

所 崎山3-123

東日本大震災で壊滅的な被害を受けたキャンプ場を震災遺構として保存・整備しました。「展望の丘（海拔約15m）」では津波の遡上高を実感することができます。



震災で破壊されたトイレ